

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成26年8月14日(2014.8.14)

【公開番号】特開2013-11827(P2013-11827A)

【公開日】平成25年1月17日(2013.1.17)

【年通号数】公開・登録公報2013-003

【出願番号】特願2011-146018(P2011-146018)

【国際特許分類】

G 0 2 B 5/30 (2006.01)

G 0 2 B 5/20 (2006.01)

G 0 2 F 1/1335 (2006.01)

C 0 3 C 17/25 (2006.01)

C 0 3 C 17/27 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 5/30

G 0 2 B 5/20 1 0 1

G 0 2 F 1/1335 5 1 0

C 0 3 C 17/25 A

C 0 3 C 17/27

【手続補正書】

【提出日】平成26年6月26日(2014.6.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

照射した光を偏向して透過する複数の偏光部を備えた偏光素子であって、  
前記複数の偏光部のうち第 1 偏光部は、照射した光のうち第 1 波長域とは異なる波長域  
の光を吸収する第 1 光吸収材を有し、

前記複数の偏光部のうち第 2 偏光部は、照射した光のうち第 2 波長域とは異なる波長域  
の光を吸収する第 2 光吸収材を有し、

前記第 2 波長域は、前記第 1 波長域とは異なる波長域であることを特徴とする偏光素子  
。

【請求項 2】

前記第 1 偏光部は、前記第 2 偏光部と互いに隣り合うように配置されていることを特徴  
とする請求項 1 に記載の偏光素子。

【請求項 3】

前記複数の偏光部を支持する基材をさらに備え、  
前記複数の偏光部は、前記複数の偏光部のうち前記第 1 偏光部と前記第 2 偏光部とを含  
む複数の偏光部群が、前記基材の一方の面にマトリクス状に配置されていることを特徴と  
する請求項 1 または請求項 2 に記載の偏光素子。

【請求項 4】

前記複数の偏光部群は、前記第 1 偏光部を複数含むことを特徴とする請求項 3 に記載の  
偏光素子。

【請求項 5】

前記第 1 偏光部は、各々の長軸方向がそれぞれ第 1 方向に沿うように配置された複数の

第 1 ナノロッドを有し、

前記第 2 偏光部は、各々の長軸方向がそれぞれ前記第 1 方向に沿うように配置された複数の第 2 ナノロッドを有し、

前記複数の第 1 ナノロッドの各々は、それぞれ前記第 1 波長域に吸収ピークを有し、

前記複数の第 2 ナノロッドの各々は、それぞれ前記第 2 波長域に吸収ピークを有すること  
を特徴とする請求項 1 から請求項 4 のうちいずれか一項に記載の偏光素子。

【請求項 6】

前記複数の第 1 ナノロッドの各々は、それぞれの材質、径及び長軸方向の寸法並びに分布密度が前記第 1 波長域に対応するように形成され、

前記複数の第 2 ナノロッドの各々は、それぞれの材質、径及び長軸方向の寸法並びに分布密度が前記第 2 波長域に対応するように形成されていることを特徴とする請求項 5 に記載の偏光素子。

【請求項 7】

前記複数の偏光部のうち第 3 偏光部は、照射した光のうち第 3 波長域とは異なる波長域の光を吸収する第 3 光吸収材を有し、

前記第 1 波長域は赤色波長域であり、前記第 2 波長域は緑色波長域であり、前記第 3 波長域は青色波長域であることを特徴とする請求項 1 から請求項 6 のうちいずれか一項に記載の偏光素子。

【請求項 8】

一对の基板間に液晶が挟持され、カラーフィルターが設けられた液晶パネルと、

前記液晶パネルの少なくとも一方の面に配置された偏光素子と、を備え、

前記偏光素子として、請求項 1 から請求項 7 のうちいずれか一項に記載の偏光素子が用いられていることを特徴とする液晶装置。

【請求項 9】

請求項 8 に記載の液晶装置を備えることを特徴とする電子機器。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明に係る偏光素子は、照射した光を偏向して透過する複数の偏光部を備えた偏光素子であって、前記複数の偏光部のうち第 1 偏光部は、照射した光のうち第 1 波長域とは異なる波長域の光を吸収する第 1 光吸収材を有し、前記複数の偏光部のうち第 2 偏光部は、照射した光のうち第 2 波長域とは異なる波長域の光を吸収する第 2 光吸収材を有し、前記第 2 波長域は、前記第 1 波長域とは異なる波長域であることを特徴とする。